



御天守五重目  
御見通地名方角附録

290  
5

御天守五重目

御見通地名方角附録

第十一門

品目	年月日	備考

29  
コ





門天守より明而見く海  
東村小千地之相見し方角也

一 所見通し小宮名多坊子之北之江之

之流あり所々山場自是より下り自下  
其地望も是れ押く何れ也云々

昭和文庫  
33.7.30 和  
39468

A 290  
コ



何れの方、相違りたる相違りたる

一 右に土地の 所見通りたる

或る土地の邊に居る 此方より

何れの方、相違りたる

一 所見通り 所見通りたる

土地の相違りたる 或る土地の邊に

土地の相違りたる

一 所見通りたる

所見通りたる 所見通りたる

所見通りたる 所見通りたる

所見通りたる 所見通りたる

所見通りたる 所見通りたる

所見通りたる 所見通りたる

所見通りたる

亥ノ月

御天守五重月

御見通地名方角附録

子方

春日升  
一 比良村産神森

毛舎三屋

庄内堤の向大蒲池の西ニ柳見ト云





よは水かき

一 鶺鴒山 佐列

少名五重余

此山は伊弉諾の常二の祠ありて  
けさ鶺鴒山の内のさきさき  
宿りて少名五重余あり

一 大山城 丹羽

少名五重余

鶺鴒山の腰通るにありて低き平山あり  
深く初より丹羽平山の上下に  
たすれりて初より

春日井

一 大蒲池

三宅

庄内庭の向に初見あり

一 光吉寺村 同

三宅

稲中村の東、平田山頂の北、柳久と

大山  
一向山

二分山

大山の東、平田山頂の北、柳久と

丹羽  
一 継鹿尾山

三分山

一向山の東、平田山頂の北、柳久と

佐列  
一 勝山村古墳山

四分山

杉沼山の東、平田山頂の北、柳久と  
の裡古墳山の東、平田山頂の北、柳久と  
乃同觀音坂より難新よりなる

一 佐列山

四分山

杉沼山の東、平田山頂の北、柳久と  
初久より向、造り山の頂、平田山頂の北、柳久と

八九月より三四月と雪深く、抄りし雪は  
しるし趣中境向來く嶽くさるるま  
るりしる

比列  
一郡上

右比列山の名に初よりしる

春日丹  
一中切村

四方四石余

史音寺村の北にあり庄内坂の向に初より

丹羽  
一大平山 善師野村内

四方七石

勝山の古跡に、柳向いふのち、柳久し  
丸山跡の山にあり

春日丹  
一志賀一本木

五石

此志賀治兼延居住の由り傳々



一 <sup>塔別</sup> 天神山 土田村

六方三石

塔吹山より下り樂田山の西の押入つれ、  
柳ありははらの境石系山より下り柳あり

一 <sup>塔別</sup> 樂田山

六方三石

二の宮山の西小坂山の東、柳入り山上、  
二宮の柳社愛宕の初宮なり

一 <sup>塔別</sup> 二宮中宮山

七方三石

山上、大縣の神社の中宮より下り  
ふくむ、はら伊勢体、くも柳入り  
○二宮山の西のさか、富士村の溪向山の  
東、かへり柳入り、はら、後列富士山  
の神と、道解、はら、中、はら、新と富士  
は、さか、はら、さか、はら、人、はら、富士と、さか  
○二宮の丑宮、のさか、はら、入鹿の松、はら  
○二宮山の東、の松、はら、入鹿神、はら、はら

羽黒村大山に通るはる遠と云々を区  
と云ふ

○二宮山野台ゆり山は林原にあり赤土元河  
系ありし物と云ふそと一色村小寺寺村  
上末村赤の低き赤土山と云々

春日井

一西志賀村

八分

田幡村の北に柳ありし

一岡

一田幡村

八分

下所原井の北に柳あり

一岡

一安井村

九分四厘

芝高寺村にあり赤土あり庄内遊の地方  
柳ありし村は志水口より山越宿に廻る  
往還と云々

一 団 野口村妙見山

九方七合

二宮山の東南より西に指経き相々々

一 東列 木曾御嶽

九方七合

木曾御嶽の西の方、頂中より深く初々々  
け山東方へ行くと西の方へ行くと

且方

一 春日井 大山村兒権現山

七合

野口妙見山の尾續東南の方、行くと  
本立深く相々々

一 信列 木曾御嶽

七合



所天字より見ゆ一室一のり山は是れ  
山上に所嶽権現の小祠あり中里八百  
の精進あり毎六月登山仕り

○此山西南の方ハ河内惠那郡加子母村自知  
村川上村南赤押巴一竹刈筑麻郡赤曾  
谷二十余村都て河内郡分は北一方河内  
方よりあり

○此山名古庄より見ゆ河内新碓黄は  
久由より二備山と名はる見ゆ一は久乃  
標よりより故里人の北嶽谷と名はる

○此道より向川赤川澄川より向川八向  
備前赤川の隈より水色赤く此川は清水  
流れ右に右の川と名はる今と備川  
より右備川の河原の内温泉と名はる一  
金湯と名中文字録本より過付男女  
入湯より全枝はる者場所は数人見ゆ  
一は温泉と名五人四方程切ゆる湯は  
足石和湯小屋一軒あり今此新王御村  
より二里余所松村より一里半許人備  
川権はる深谷よりあり

一 同  
木曾三ヶ山

三方八重

木曾王所村の西にあり所嶽の三ヶ山、  
初々々々げと云ふ山と所嶽の頂の同、  
大々々々池と云ふ山中の池と云ふと云ふと云ふ  
こつち往來は々

一 波列  
大原山

二方羊

兒權現山と内津山の同、初々々々々々々々

二文山の小手、引使と波列小本北神木村  
の山引つらう初々々々

一 春日  
内津妙見山

四方余

大原山の東の方と云ふ山、  
初々々々々々山の東の林鹿内津村と云ふ  
内津へ古々北々々々古言も初々上古  
こつち往來は々々々々々  
内津通了波列大井宿の東々々々々々

海邊より各方位より行程小牧にて  
川谷より程遠くはるか東野門の川と  
八の谷程海へ廻りゆくは月より九月  
らんわのそとくは東野門より文と  
便格なり

一同

一 辻村

四方五里

山より通の西に戸内海の川方、相見より

一同

一 弥勒ヶ峰

四方五里余

内津山の東南にあり、神屋村内より  
川谷の西に山あり  
此山の北東に列峰あり、東村より遠く  
行坂より遠くあり

一同

一 東志賀村

五里

山より通より並木の西に相見より



一 小三置山 位列

五方九合

津路ヶ峠の東南、狭間山の麓通り低  
所、小三置山の頂上、造り相欠り  
苗及地じり二三星、西にあり山  
ソシク

一 東志賀産神森 春日井

六方五合

山東の西の方、東志賀川、縁木之

一 御用水通 同

六方五合

下所、深井山、松枝和り、右内、森  
斜、松枝相々々々

一 木曾駒ヶ嶽 位列

六方九合

山、西面、名古居り、見、海、新木  
登、尻、次、系、上、松、福、為、宿、相、寄、東  
面、位、列、伊、系、部、分、り、ソシク

本居上田村系村の間より狗石を  
とれた山柳の下のところなるてきた  
字の山狗ヶ嶽と云々 見立 篤信 紀行  
まじく 滑川入 伊多川入の奥より 狗ヶ嶽  
相連する行々 山々 滑川入  
伊多川入の奥より 里人 都て 狗ヶ  
嶽と 柳ヶ嶽

○右狗石の山と云々 里人 雨と 祈ふ  
全山は 大嶽 人 傳不入 山中 山々  
○山々 北西より 田々 山々 村山 々々

滑嶽の指を、指して、まじく山の  
近柳の山々

春日井

一 柳ヶ嶽間

六分九寸

滑嶽ヶ嶽の東南の低く、と云々 廻間  
打つて 滑列との交村、通る、と云々 遠々  
柳ヶ嶽の奥の北と 大谷の山柳南と  
上の山柳と云々

法列  
一苗小域

小三置山惠那山の同苗又の端下、柳  
あり

春日井  
一外原玉野山

八名五登

外原山玉野山ハ玉野川と隔て定芝寺  
山々柳向いふけ山の北東ハ法列小本  
村柳山とて山の尾通リ境柳山

け是所ハ柳山あり此の山枝木三登  
切所ハ柳山

法列  
一木曾與川山

九名五登

惠那山の北より頂平カ山柳之山  
木多ク川村の奥伊奈川入る山、川終  
以所ハ法列山と川中終りけ山の東  
面法列伊奈部より法列



春日井  
一定光寺山

九分五厘

定光寺山の北邊に列する松之原に柳之  
原は山の東の極東と云柳村に山は  
山田川村に流れては東の明の河  
定光寺ありわら運と云々

寅方

春日井  
一東谷山

寅方

東谷山は定光寺山と柳家山との間に  
あり其形丸く山はゆるゆる柳之原山上  
東谷大明神の社は山々山々の東の水田村  
西の玉の川の岸にあり一際と云見村  
通る定光寺と云の運と云々

○山の東北、岩掛村の山に亭あり

一 上飯田村

宮方

山の水廻の末店內庭の一方、柳あり

一 下飯田村

宮方

上飯田村の一方、柳あり

一 龍泉寺山

四石

東谷山の一方、柳あり元山の北面

本寺の傍にあり又新 觀音堂のくち  
多良くヶ淵、坊條くち 龍泉寺山の裏  
坂あり

一 木曾湯舟沢山

五石

惠那山の北、指尾寺柳あり

行別

亦方々川山は同くあり本方々なる内  
風曾ヶ嶽の頂か相見えん

○湯舟伏山又海一の内こゝを山越へ入込  
ト云ふ山の文云々には相見えん

下山屋井内

一 味方山茶屋

九重

此山茶屋を通り下山屋井は板敷の弁  
深き屋を新茶志山所と云ふ方、  
相違くしん

一 川合山

三々七重

此山ち山の屋後南の方、相見えん

一 徳列山

三々九重

此山西へ徳列中は川合谷北の本方湯  
舟伏山より折山所なる方々東へ  
徳列伊予郡南の岩打所なる方々  
○山上、恵那権現の社と云々具神と云







一 同

天田村

丘方三重

山田村の東南にあり 庄内堤の北方、  
柳之川

一 同

赤津村 毘舎門山

丘方羊余

戸越の北鳥ヶ根の北に、續々木之川、  
柳之川は所而坂雲奥羊の奥の北と  
おぼしむ

一 同

東板村

丘方

○山の北之國津の南赤津山の内雲  
見ヶ字 三ヶ字 四ヶ字 五ヶ字 六ヶ字 七ヶ字 八ヶ字 九ヶ字  
古屋 〇見通し 〇山の文おぼしむ  
〇名々  
○横板山 〇北赤津山 〇尾匠了 〇屋列  
〇列く 〇名々 〇名々

西板村の東にあり 長久之の東の北におぼしむ



一 烏ヶ根 赤津山内

六分三厘

戸部の北、毘沙門山の南、少くも相之  
トクはきくろ三列の山々、眼下、相之トク

一 白坂雲真寺

六分三厘

毘沙門山の麓、あり一際木まじり  
相之トク

一 白山杖

六分五厘余

本ヶ崎の東、守山村邊の木立、相之トク  
より且、大木、村邊の赤林、相連り  
各一、木まじり、きくろ、河原、松、竹、  
トク、相之トク

一 大曾根村

六分八厘余

初意、木の葉、の葉、の葉、相連り、一、低ク



石守の足通一と云ふ柳の傍に  
新天守と云ふ鈴ヶ根の北に柳ありて  
昔に柳のく

○宝曆五年三月八日海方北戸部と云ふ鳥  
ヶ根鈴ヶ根様取山と云ふ日ありて  
戸部め取上りて多量仕多しと云ふ東の方  
雲々多量と云ふ山柳のく一と云ふ北  
門ありてと云ふ山め足通一と云ふ柳  
切所と云ふ

春日井

一 戸部の中

七方町

鈴ヶ根の山あり一版低く云ふ柳の  
小山ありて山と鈴ヶ根の間ありて  
戸部の中と云ふ山ありて山ありて  
戸部の中と云ふ山ありて山ありて  
戸部の中と云ふ山ありて山ありて

一 戸部の中 且宝隔山樽 七方町



春日丹  
一 鈴ヶ根

赤澤山内

八分

此山猿投山、相寄る申、五六町人、相寄る  
るる山、赤澤山の尾、別々、赤澤山の  
寄る、赤澤山中、山村、赤澤山の尾、通  
之別、尾、別々、赤澤山の尾、通  
け、赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、

三列  
一 猿投山

八分余

鈴ヶ根の南、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、

赤澤山  
一 山口村

八分余

猿投山の尾、山口村の村、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、  
赤澤山の尾、赤澤山の尾、赤澤山の尾、

一回 同  
物見之岩

八百余

株投山の下元山の尾に於て一多柳久々の  
尾之深き所ありて其まの下に赤土薙  
柳久々の物見之岩の世所ありたり

一 長久寺

九分

東校村の南の方赤梅一山あり柳久々則  
長久寺并為王權院の社あり是なり

東の方より寺あり志水所西より南より長  
久寺あり

一 柳越山 地名

九分六厘

長久寺の東を通り東の方元山の下の柳  
あり是より少くありて柳久々  
所は柳越山なり





振後山より南へ下ん庄通るく田舎なる  
所山より行儀之列は名見山と云々

一 伏津山

此の山

け山と云耶とて口〜〜好く〜〜早くら  
明〜〜

一 上野山菜場

此の山

柳並りの東の辰巳のなるを客の衆の  
南にあり口と云ふ所の東柳と云々  
のけさ〜あり物事所宝泉寺のち堂向く  
柳と云々

一 寺部山

此の山

伏津山の南にありて山柳と云々  
ゆせのの徳と云々中寺部はけ山より西  
ありて云々

一 岩作村 五岳寺

四分余

寺の境は井谷ケ根の上、長さ十町段  
大神君所賜拂きせり、河壯元  
山階陽へそり、南におありと  
山階く、山階の西下全におありと  
山階く、山階の東林に、左右并り  
山階く、山階の西下全におありと

一 建中寺

古丹村

五分四寸

柳急寺の東林の南に、一むの東相  
ト、東の中程、松の梢、松あり

一 鳳山寺

六分七寸

杜田山、傍り、庄、了、山頂、在、山、見  
類、柳、あり

三列  
一新城山

七分五厘余

同馬守山の南に柳久し同馬守より  
所ゆき坂へ登り送通了く申と云ふ

三二九  
一東大手所門

七分九厘

所土居の板の間に柳久し門の東に山村  
より東土居の庄根ありし

七〇七  
一植田山

八分七厘

植田山往き庄通了本之深く柳久し  
植田山南より長山よりと云ふ所  
より所之間のありと云ふ

七〇八  
一山下庄鋪

古井村 九分四厘

庄中より東の南に事り一むの庄根  
南より昔く柳久し



一丸山村八幡森

九方寺

古丹八幡の森のやまを登りてかゝ  
道く相見し

辰方

一古丹村八幡森

辰方

河下正浦の森の南の端より一版  
少くとも相見し

一八才山

辰方

種田山 傍より度通るる所あり  
おんんんけし 八景山の天通の江  
をみておんんん

二列  
一本城山

二行

新堀山の南八景山の向ふあり 頂中おんん

同  
一本宮山

二行八行

中城山の南八景山の傍より度通るる所あり  
頂中おんんん

並知  
一本根山

二行二行

八景山の傍より度通るる南の方難おんん

二列  
一本田

二行五

根田山の傍より度通るる南の方難おんん

佐多寺吉田塚より列赤坂山の如く北  
の如く相するなり

三列  
一赤坂山

六分五厘

赤坂山の南中根より北海山の同様の  
丘道の向に相するなり東海通赤坂山  
より北よりなる山なり

一同  
一因崎城

八分

右赤坂山より幡旗山の同におちりたり

一同  
一幡旗山

九分

赤坂山の南中根山より東山の丘道の向  
向に相するなり吉田塚の西より南へ入  
りてなる山なり北よりなる山なり赤坂  
山より北よりなる山なり



ふと浦より富士山とみえしむけ橋の  
山の南にありん

北

一 町 星所村八幡山

九名寺有宗

の星所村の南に北に川を流れ柳の  
川

己方

二 町 一 行 濱山

己方

吹海山より川流り山の底西に北向  
あり頂低く庄屋もよくあるといふ  
所傍の辰に伊良子宿績と志列を  
縁より道列や地と行濱十之字と  
ありけ山の南浦より流るる道列灘七十

五里の内をさる

二列  
一西尾

地理ゆゑに卯方往るに西尾へ傍り山の西行流山の方へあつたり

をえ  
一山尾新村

を方七里

村の丑宮へあつた卯方の西比の堤切なり

をえ  
一巻の森

を方

山尾新村の南へ切なり

一回  
一鳴海山

を方三里余

大なる山の麓より東の方へ通つた内をさるに本之切なり新鳴海山は北を方三里余の山をさるなり

一 <sup>を名</sup> 三田村森

三方五丁余

岩の東の南に柳見下

け東の西にありて三幸山の東にあり

柳見下

一 <sup>因</sup> 龍巻村系

四方五丁

龍巻村の東にあり並に一字に柳見  
下にありて東の東にありて三幸村にあり

一 <sup>三列</sup> 川屋

四方五丁

地理に依りて三幸村系川屋大木の  
川屋より東にあり

一 大高古塚山

五丁

氷上山の東にあり



同  
一 氷上山 大寺村の内

五方四重

写海山と名る山の向座廻り少く  
亦之河く相見々新勢南の橋社水と  
内神法文の山と云々

三十九  
一 新所門

五方四重

所土板の板の同く新所の破風也云々

四十九  
一 新徳寺

五方八重

所土板の板の同く且堂の屋根板見云々

同  
一 所旅新葺

六方五重

けきん若宮八幡住さ流内板寺等の葺  
柳連了々内板の材立並い々所旅新  
し葺らる云々



午方

一 <sup>多</sup>横須賀村

午方

四家山の西にあり山の麓にあり深く掘り  
りし村の東の海をこらるなり

一 <sup>志列</sup>鳥羽

午方



糸多師清日志とて此久通とて  
地理より今糸多を居てつぎ朝熊  
山の東に柳をうへ

朝熊

一朝熊山

糸多之市

糸多山の市部一遠に柳をうへ  
け山の西の方や谷の里に糸多をうへ  
内宮陸奥の山々低く糸多を居ては  
糸多山は陸奥の柳をうへ

朝熊

一保田沖

糸多之市

古見村の此方朝熊沖新田の堤の根の  
間々保田沖の町に糸多をうへ

朝熊

一古見村

糸多

糸多山の古見の根山をうへ川をうへ  
糸多をうへ柳をうへ

名多  
一 常清村

四方五合

古見村の西にありて山の折廻りに瓶  
枝の煙たけり 柳々々 三村の山におえり

勢列  
一 山田

四方五合

口永清より北の方よりありて山  
の折廻りに柳々々 三村の山におえり  
山 外宮法衣の南にありて山におえり

名多  
一 口永清

四方五合

名多山の庄清海に、折廻りに柳々々  
三村の山におえり 柳々々

名多  
一 中川

四方五合

折廻りに柳々々 三村の山におえり  
中川の

重名  
一四女子村

五方三々

佐佐海邊並坂の川中川為口の方、  
ちう村の早人柳久下

惣列

一二見浦

六方位

山向うと見浦の間に見浦大原を  
五方下下

惣列

一高見坪

六方七々

山向うの西にちう海と遠に柳久下は  
宮川の西南にちう下所の中と云々

重名

一三子門

八方

中川為口の西の方、新田並坂の柳久下  
柳久下



一 打坂浦

八分三寸

北の山とくわくは山の間向に柳あり  
川のせきと大口にや

一 平所村

九分

柳屋の裏西の方、川沿いに柳あり  
平所村のほうより来る川沿いに柳あり  
こ柳ありありあり

一 打坂山

九分三寸

打坂山の西北に柳あり

未方

一平野村をむ森

未方

平野村の西の方、柳元山に於て  
けり戸田邊に於てあり

一北同一色村

未方

山打越道了四女子村の西に柳久  
山

もろわ

一 山打越

三方三石

山打越の西の方、柳久山は山打越の西、  
傍に山打越村の東の方、傍に山打越の  
山打越山、山打越山、山打越山、  
山打越山、山打越山、山打越山、  
山打越山、山打越山、山打越山、

一 伊豆山

三方四石

山打越山の向一際遠く柳久山

山打越

一 山打越山

三方四石

山の頂丸く柳の林、山打越山、  
山打越山、山打越山、山打越山、  
山打越山、山打越山、山打越山、  
山打越山、山打越山、山打越山、



一 阿波津 勢列

三方五里

けきの山の方向を地所の山と押  
しあはれ行はるる 勢を柳山の山  
わあうらう

一 勢 むら  
一 勢田新田青

三方五里

海を堤のとあし柳をいひく

一 久須ヶ原 勢列

三方五里

伊勢山の方向を海をいひく例  
しあはれしとあし低き山柳をいひく  
市をいひる市の向き園川のあはれ  
うらう

一 牧野村 むら

四方五里

市をいひる市の向き園川のあはれ

白川河沿れに居る村  
の中へ  
○村の向に上戸を打物と云ふ  
○村の向に古く山師寺ありて此の  
木之柳と云ふ

一 白子山

丹方を令

鬚嶺山の少く柳と云ふ

一 下一色村

丹方を令

海を村の南の向に海を打物と云ふ  
その西に西木と云ふ海を打物と云ふ  
下一色村の向に古く山師寺あり

一 須賀村

丹方を令

牧野村と橋の向に古く北一色村の  
向に古く柳と云ふ

一 神ノ

六方

地元の事ゆゑに押さへん事に入らぬ  
五方より

一 橋ノ

六方

この細村の東牧野村の北にありて西門  
の西の岸にありて東の門の南の北の細村の  
北の橋よりありて細村の北

一 同  
細村

七方より

核の東の西にありて打の北の東の北の  
北の細村より中村の細村の細村の  
一打の細村より細村の細村の東  
西に細村より細村の細村の北  
細村の北に鳥居下中村の細村の  
中村の北にありて細村の細村の  
の細村の北にありて細村の





その初村の西面より川離れ相々  
村の東の隈より谷を穿てて  
村の東の隈より谷を穿てて  
村の東の隈より谷を穿てて

中方

宅名

一 中野村

中方

中野村の西に川流し相々

一 鈴鹿山

中方

孤所山本嶽の南にあり  
相々山頂より

一 長崎城 魏列

毛名余

地理云 師方は云々大縣 魏野山の方、  
柳多し

一 正覚寺 聖和

毛名余

新運通了、心寺 柳多し

一 孤所山末子嶽 魏列

毛名余

孤所 湯島山の奥、五多し、或るか、  
嶽多し

一 大秋村 聖和

毛名余

中野村の山西、柳多し、大中央寺、  
大秋と之郷、大秋村、連一村の、  
柳多し



重名  
一西領寺

六角八寸

新名通つゝ内申寺桐之々々

同  
一中村 上中村ト云

六角八寸

大秋村の西に桐之々々

魏列  
一丸山 赤石領

四角六寸余

多度山の南の林原にあり山の姿丸く赤石  
は桐之々々 此は枝木は桐之々々山中に在り

魏列  
一多度山

六角三寸

多度山の南の丘の土免中の一ツツもすき所  
桐之々々列を山の神位に多く由りて

一伊勢山

六角四寸

多分山の向、柳之山の北にハツタ山候、  
近幸河と接々新中、文口

一法房寺 聖名

六角罫

新造寺、中平柳之山

同日比津村 同

七角

字村の西南、柳之山

一法園寺 同

七角八角

新造寺、中平柳之山

一津嶋村 海原

八角五角

多分山は、新造寺、中平柳之山、  
伊勢山の南、柳之山、新造寺、  
柳之山

平久  
一 栄村

八方寺

枇杷寺河内了と南に柳の川

同  
一 海福寺

八方寺

新造通了と口市寺柳の川

一 伊勢山

九方寺

山(通)ハツタ山、後武上り新く中、筑



四方

一 <sup>北</sup> 栄村一平

四方

栄村の北所迄より南に相入る

一 伊勢山

北

伊勢山の向に相入るより南に伊勢



湯原村より谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山

何列  
一 津庄山

右大谷の小例湯原村より谷合の  
山より谷合

同  
一 小倉山

右津庄山の山より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山  
と谷合の谷合より湯原村の山

同  
一 今庄村

右小倉山の山より湯原村の山





は列

一 厨ヶ嶽

多良山之内

五方即宜

厨ヶ嶽ハ羽子板元ノ西ニあり一版小ニ  
山ニあり岩老谷ハ北ノ谷ニあり新ト  
モ宇余ノ了陣ノ向名ト多良ノ内ニ  
ありトモトモ西ノ方、拾余所ノ込込厨ヶ  
嶽ノ頂上ニあり

○山ニあり西ノ江ノ湖水竹生流は列嶽列  
位列位列之列ノ少少あり相久トモトモ  
お散多良牧田一ノ所厨ヶ原ニあり

板元山大垣岬飯卓古岬山多良川多良  
ノ所所分川ノ水トモ久多良牧田浦  
ノ頂上ハ此ノ不村ノ所ト相久トモ  
○多良山ハ猿投山ノ内ニありトモ  
トモ多良川橋本迄ト相久トモ

同

一 白石山

六分

岩老谷ノ中ニあり山ノ半幅ニあり  
相久トモトモ例傷れありトモ谷小トモ

川、流れ入るは山は林麓、而名村と戸新  
また大谷川、かき橋をたはるは橋をた

は列

一 次田山

七方

而名山の少、柳久下

春日井

一 元枇杷崎

七方

枇杷多橋の少、幸、庄内堤の少、柳久下

は列

一 園原

八方

中山の南の押、柳久下

一 中山

八方

伊吹山、か南、幸、低、丸、山、柳、見、  
伊吹山、中、柳、南、山、山、の  
伊吹山、中、柳、南、山、山、の



春日井  
一 望玉村

九名

柳河の所なる、柳之村の南、可賀と云  
中、屋敷と云ふ、柳之村

伎列  
一 雲丹窟

九名

中山の山の向、柳之村の南、可賀と云  
之、二月十三日、冷く、

口列  
一 伊吹山

九名

伊吹山、伊吹山の南、

成方

一清例古域

在方

清例古域 天守辰在方、相名、古域

一柳河 押切村古

在方

四ノ村のけち、家並柳々々河々  
南の方、有山あり

法外

一 雲丹山

三ヶ所

何々の山、川津、三ヶ所、山柳々々  
ささき、雲丹、ささきの山、ささきの山

一 大垣城

三ヶ所

何々の山、柳々々、相々、見通し、柳所の  
世宮、隔々、明々、ささきの山、三ヶ所、三ヶ所、月  
ささきの山

一 同  
東坂山

三ヶ所

何々の山、柳々々、水々、低々、山、柳々々  
何々の山、東坂、柳々々、山、ささきの山、  
水、柳々々、ささきの山



一 濃列山

三合

尾坂山より山の谷合襟所より山  
柳よりけさ依所の水中にあり

春日井

一 中塚新

濃新村の西

四合

え北北寄の小丘の峰の西方にあり

濃列

一 谷汲山

六合

山の谷合襟所より山よりて  
深くありて  
て形容奥

春日井

一 塚新村

六分中

真福寺村の西にあり

亥方

一 越前山

四空

此處以列々越前山入相所中、

春日井

一 真福寺村

六空

名保村の西庄回堤の村方、





一 濃別山

四分五厘

飯草山より杉原山に伸びる山に  
向、柳久山

濃別

一切

六分五厘

飯草山より杉原山に伸びる山の切欠  
にあり

濃別

一 三尾山

武儀郡

七分五厘

口頭白山乃可方板力山の西に柳久山  
利板力村の西にあり山にあり

口頭

一 白山

七分七厘

白山東に高洋南に穴渡の西に柳久  
山にあり、柳連の山の中  
。傳書に、柳の白山と相化して延在也。

加賀國白山神社より、又、今、加賀  
の國、属、し、中、水、作、り、

法列

一 高根 板取打向

七分八寸

白山より、板、取、降、り、山、の、上、に、取、二、の、名、  
山、の、と、し、し、板、取、打、高、根、の、社、の  
東、に、あ、る、山、の、名、は、地、藏、ヶ、嶽、  
初、並、い、し、又、人、里、人、形、比、し、て、又、名、  
の、所、と、す、

因

一 地藏ヶ嶽 板取打向

八分五寸

高根の東に、初並い、く、山、の、名、は、

因

一 禰部作

九分余

山の頂、平、倉、と、し、て、又、名、山、の、東、に、禰、部、  
の、名、山、と、す、初、並、い、く、山、の、名、は、  
禰、部、村、と、す、

春日

一 稲生産神様

九分

稲生村の東の隅の稲生産神様の事  
初見下々

三

二月







